

GUNZE

**第116期(平成24年3月期)
定時株主総会**

**平成24年6月26日
グンゼ株式会社**

第116期定時株主総会

議事次第（開始時刻：午後1時）

<報告事項>

1. 第116期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)
事業報告、連結計算書類および計算書類の内容報告の件
2. 会計監査人および監査役会の
第116期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)
連結計算書類監査結果報告の件

<決議事項>

- 第1号議案 剰余金の処分の件
第2号議案 取締役10名選任の件



■第116期定時株主総会

「報告事項」

事業報告

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

I . 事業の経過及びその成果

I-1. 第116期(平成23年度) 連結業績

連結業績

(単位:億円 単位未満切捨て)

	第116期 (H23年度)	第115期 (H22年度)	対前期		利益率(%)	
			増減額	増減率 (%)	第116期 (H23年度)	第115期 (H22年度)
売上高	1,366	1,337	29	2.2	—	—
営業利益	10	30	△20	△66.8	0.7	2.3
経常利益	9	32	△23	△70.3	0.7	2.5
当期純利益	5	17	△12	△68.2	0.4	1.3



Ⅱ. 事業セグメント別の概況

お手許の招集ご通知**2頁から3頁**をご参照

Ⅱ-1. <機能ソリューション事業1>

売上高 : 515億円 (前期比 9.5%増)
営業利益: 35億円 (前期比 12.8%減)

プラスチック

上期: 東日本大震災の影響による前倒し需要などから堅調に推移
下期: 流通在庫の増加および海外からの廉価品流入により競争激化

- 平板収縮フィルム
 - 国内市場の縮小に対し、ハイブリッド、薄膜化対応強化
- OPPフィルム
 - 防曇市場の深耕と差異化商品の開発
- 複合ナイロンフィルム
 - 複合ナイロン2号機の増設・稼働



■ 複合ナイロンフィルム「ヘプタックス」

エンジニアリング プラスチック

円高や欧米の景気低迷、タイ洪水の影響による得意先の操業度の低下

- 複写機用中間転写ベルト
 - 市場要望に応じた商品開発推進
- OA関連
 - 高付加価値商品の開発
- フッ素樹脂一般産業用資材
 - 半導体向け部材が好調に推移



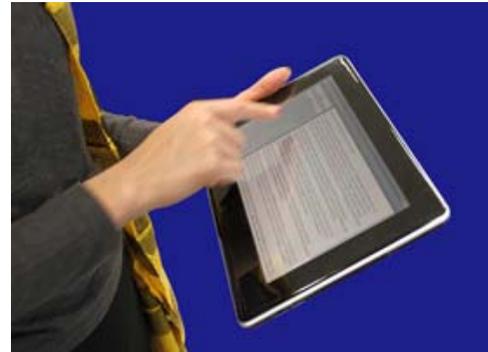
■ フッ素樹脂(PFA)薄膜チューブ

Ⅱ-2. <機能ソリューション事業2>

電子部品

タブレット端末向け透過型静電容量タッチパネルが大きく伸長
下期の急激な市況悪化による減産対応で苦戦

- 透過型静電容量タッチパネル(PCAP)の生産能力増強
 - スパッタ機、コーティング機の増設と印刷・組立能力拡大
- 日本・中国・台湾の連携による生産・販売体制確立
 - (台湾)郡宏光電の生産ラインの増設(2011年12月)



■タブレット端末



■郡宏光電ビル

メディカル

中国、アジア地域が堅調に推移

- 中国での独自販売体制の確立および東南アジアでの拡販
- 新製品の開発・販売
 - 血糖値センサー「ライフチェック」(2012年1月)



■血糖値センサー「ライフチェック」⁷

Ⅱ-3. <アパレル事業>

売上高 : 729億円 (前期比 2.1%減)
 営業利益 : 1億円 (前期比 80.7%減)

大手流通のPB(プライベートブランド)商品の戦略的拡大による競争激化
 綿糸価格等の高騰、採算性悪化

インナーウェア

- ファッション・カジュアル商品、シーズン機能商品の拡販に取り組むも、NB(ナショナルブランド)商品全般では苦戦
- 一部の綿製品の価格改定実施
- レディースインナーは、不採算店舗からの撤退で収益改善
- 直販ビジネスの拡大とオンデマンドカスタマイズ技術の確立
- 海外販売体制の強化
 - 「北京愛慕郡是服飾有限公司」営業開始(2011年10月)



■イメージキャラクターの桐谷美玲さん

レッグウェア

- ファッション商品が苦戦するも、ベーシック商品が堅調
- パンティストッキングのプレーン商品が復調傾向
 - 2月に発売開始したストッキング「Mirica」(ミリカ)が好調に推移
- 中国市場に向けた企画・生産・販売体制の整備



■イメージキャラクターの武井 咲さん

繊維資材

- 自動車用資材(シートベルト、エアバッグ用の縫糸など)の拡販
- 海外子会社によるアジアでの増販

Ⅱ-4. <ライフクリエイティブ事業>

売上高 : 134億円 (前期比 0.2%増)
営業利益 : 9億円 (前期比 38.5%減)

不動産関連分野

消費低迷や近隣商業施設の開店・増床等、競争激化

- グンゼ タウンセンター つかしん/兵庫県尼崎市
 - 新規テナント導入、地域密着型の販促
 - 「にしまち(2012年10月リニューアルオープン予定)」工事の影響等で、苦戦
- 前橋リリカ/群馬県前橋市
 - リニューアルオープン(2011年12月)



■「前橋リリカ」テープカットの様子

スポーツクラブ分野

- 新メニュー&プログラム導入による新規顧客の獲得、会員数増加
- グンゼスポーツクラブ
Kyoto烏丸六角店のオープン(2012年4月)



■「Kyoto烏丸六角店」テープカットの様子

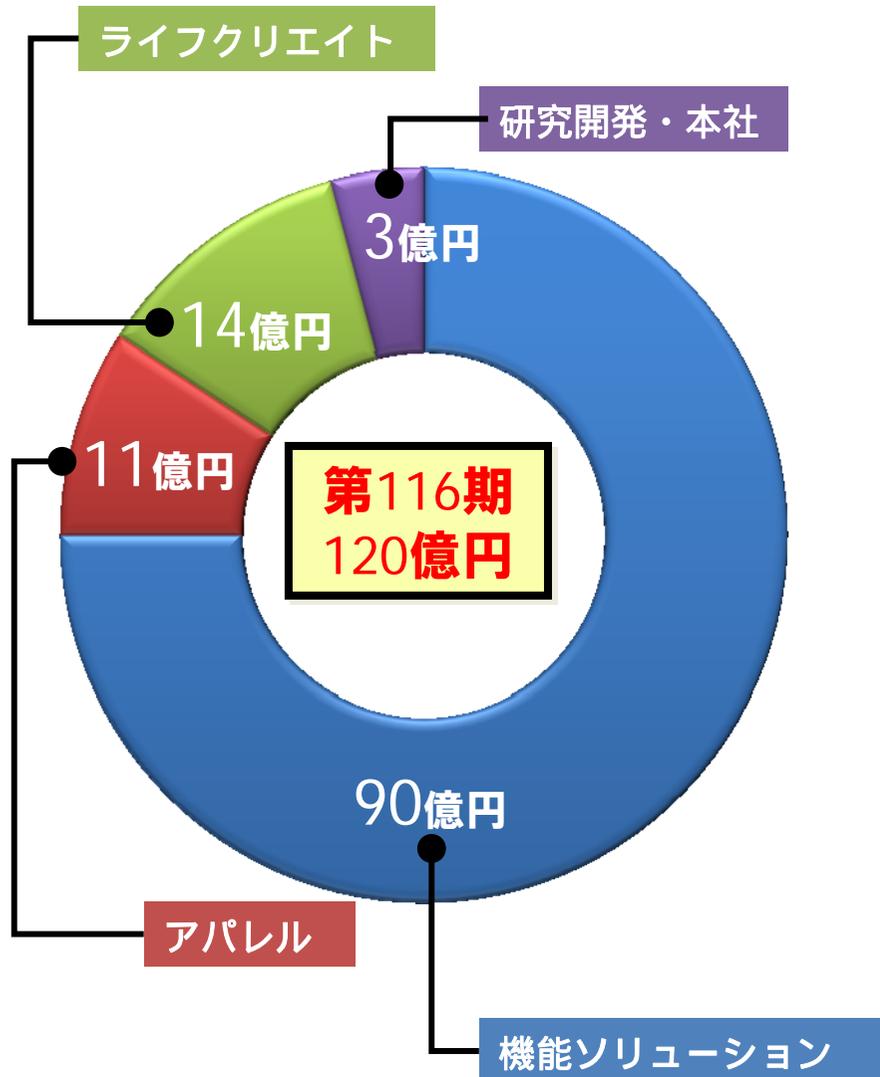
Ⅱ-5. 第116期(平成23年度)セグメント別の業績

セグメント別の対前期比較

(単位:億円 単位未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	第116期 (H23年度)	第115期 (H22年度)	増減	第116期 (H23年度)	第115期 (H22年度)	増減
機能ソリューション	515	470	44	35	41	△5
アパレル	729	745	△15	1	9	△8
ライフクリエイト	134	133	0	9	14	△5
全社・消去	△12	△12	0	△36	△35	△1
合計	1,366	1,337	29	10	30	△20

Ⅱ-6. 設備投資の状況



機能ソリューション事業 (90億円)

- プラスチックフィルム生産設備
- 電子部品生産設備

アパレル事業 (11億円)

- オンデマンド生産への対応
- 海外生産工場の効率化

ライフクリエイト事業 (14億円)

- 「前橋リリカ」リニューアル
- 倉吉商業施設開発

研究開発・本社部門 (3億円)

- 研究開発設備ほか



Ⅲ. 業務の適正を確保するための

体制の整備に関する事項

お手許の招集ご通知**13頁から16頁**をご参照

Ⅳ. 会社の支配に関する基本方針

お手許の招集ご通知**16頁から17頁**をご参照



V. 計算書類(連結)

〔 貸借対照表・損益計算書
キャッシュ・フロー計算書及び
株主資本等変動計算書 〕

お手許の招集ご通知**18頁から26頁**をご参照

V-1. 貸借対照表(資産の部)

(単位:億円 単位未満切捨て)

科目	第116期 (H23年度)	第115期 (H22年度)	増減
流動資産	753	677	76
固定資産	931	961	△30
有形固定資産	687	674	12
無形固定資産	19	21	△2
投資その他の資産	224	265	△40
資産合計	1,685	1,639	45

流動資産

753億円 (前期比76億円増加)

現金及び預金	前期比	△8億円
受取手形及び売掛金	前期比	24億円
(※期末休日影響額17億円含む)		
たな卸資産	前期比	60億円

有形固定資産

687億円 (前期比12億円増加)

建築及び構築物	前期比	16億円
機械装置及び運搬具	前期比	32億円
建設仮勘定	前期比	△35億円

投資その他の資産

224億円 (前期比40億円減少)

投資有価証券	前期比	△41億円
--------	-----	-------

V-2. 貸借対照表(負債の部、純資産の部)

(単位:億円 単位未満切捨て)

科目		第116期 (H23年度)	第115期 (H22年度)	増減
負債の部	流動負債	433	352	80
	固定負債	149	153	△3
	負債合計	583	505	77
総資産の部	資本金	260	260	—
	資本剰余金	140	140	—
	利益剰余金	800	792	△7
	自己株式	△76	△72	△3
	その他の包括利益累計額等	△15	4	△20
	純資産合計	1,101	1,133	△31
負債及び純資産合計		1,685	1,639	45

負債合計

583億円 (前期比77億円増加)

借入金(含商業紙) 101億円
退職給付引当金 △24億円

純資産合計

1,101億円 (前期比31億円減少)

配当金の支払(第115期) △14億円
自己株式の取得 △3億円
その他有価証券評価差額金 △21億円
当期純利益(第116期) 5億円
少数株主持分 2億円

V-3. 損益計算書

(単位:億円 単位未満切捨て)

	第116期 (H23年度)	第115期 (H22年度)	増減
売上高	1,366	1,337	29
売上総利益	339	364	△25
販管費	328	333	△4
営業利益	10	30	△20
営業外損益	△0	2	△2
経常利益	9	32	△23
特別損益	13	△2	16
税引前当期純利益	23	30	△7
法人税等及び 少数株主損益	17	12	5
当期純利益	5	17	△12

特別損益の内訳

(単位:億円 単位未満切捨て)

	第116期 (H23年度)	第115期 (H22年度)	増減	
特別利益	退職給付信託設定益	40	9	31
	違約金収入	—	13	△13
	その他	1	5	△4
	合計	41	28	13
特別損失	退職給付費用 数理差異償却額	24	22	2
	その他	3	8	△5
	合計	28	31	△2
特別損益		13	△2	16

V-4. キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円 単位未満切捨て)

科目	第116期 (H23年度)	第115期 (H22年度)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14	50	△64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77	△59	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	83	25	58

営業活動による CF

△14億円

<主な内訳>

減価償却費	81億円
たな卸資産の増加	△60億円
売上債権の増加 (期末休日影響額△17億円含む)	△24億円
仕入債務の減少	△11億円

投資活動による CF

△77億円

<主な内訳>

固定資産の取得	△73億円
---------	-------

財務活動による CF

83億円

<主な内訳>

CP含む借入金増加	108億円
長期借入金の返済	△10億円
配当金の支払	△14億円

V-5. 株主資本等変動計算書

項目	株主資本（単位：億円 単位未満切捨て）			
	資本金および 資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本計
当 期 首 残 高	401	800	△ 72	1,129
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当		△ 14		△ 14
当期純利益		5		5
自己株式の取得・処分	△ 0		△ 3	△ 3
株主資本以外の項目の変動額（純額）				
連結会計年度中の変動額合計	△ 0	△ 7	△ 3	△ 11
当 期 末 残 高	401	792	△ 76	1,117
項目	その他の包括 利益累計額	新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	当 期 首 残 高	△ 4	2	6
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△ 14
当期純利益				5
自己株式の取得・処分				△ 3
株主資本以外の項目の変動額（純額）	△ 23	0	2	△ 20
連結会計年度中の変動額合計	△ 23	0	2	△ 31
当 期 末 残 高	△ 27	2	9	1,101

V-6. 主要財務・経営指標(連結)

	単位	第116期 (H23年度)	第115期 (H22年度)	増減
売上高営業利益率	%	0.7	2.3	△1.6
自己資本比率	%	64.7	68.6	△3.9
1株当たり純資産	円	568	582	△13
ROA:総資産営業利益率	%	0.6	1.9	△1.3
ROE:自己資本当期純利益率	%	0.5	1.6	△1.1

※ ROA : 営業利益 ÷ 総資産

※ ROE : 当期純利益 ÷ 株主資本



VI. 計算書類(単体)

〔 貸借対照表・損益計算書及び
株主資本等変動計算書 〕

お手許の招集ご通知27頁から33頁をご参照



VII. 企業集団が対処すべき課題

お手許の招集ご通知**4頁**をご参照

VII-1. 第117期(平成24年度) 経営方針

外部環境

東日本大震災からの復興需要

欧州債務問題

電力不足

原油高、原材料価格高騰

『破殻成長』の信念で、顧客・市場の激変に迅速に対応した商品開発と仕組み改革を実行し、顧客満足と企業価値向上を実現する

※破殻成長(はこくせいちょう)

今までの殻を破り、思い切って現状を打破し、しっかりと育成・成長させるという意味

1. 成長確保

- (1) 顧客メリットを明確にした特長商品・サービスの開発
- (2) グローバル販売の積極展開による収益力の強化
- (3) 重点投資・新規事業の早期経営貢献の実現

成長確保

体質強化

経営基盤強化

2. 体質強化

- (1) 不連続コスト改革を含む1/2革新運動によるコスト競争力の強化
- (2) グローバル最適SCM体制と経営資源の有効活用の実現
- (3) 商品特性・ユーザー要求に効率対応する仕組み構築

3. 経営基盤強化

- (1) 品質・コスト・デリバリーとCSR力の強化によるゲンゼブランド価値の向上
- (2) 省エネ・省資源の徹底による環境経営の進化
- (3) 多様な人財育成と技術の伝承・向上による市場対応力の強化

VII-2. 第117期(平成24年度) 重点実施事項

機能ソリューション事業

【プラスチック】

- 差異化商品のハイブリッドフィルムの拡販
- 海外会社の経営基盤強化

【エンジニアリングプラスチック】

- 新機種採用商品の拡大とコストダウン

【電子部品】

- 透過型静電容量タッチパネルの拡販、導電性フィルム・光学フィルム販売による事業拡大

【メディカル】

- 中国での研究開発・生産体制の構築

アパレル事業

- NB(ナショナルブランド)商品力の強化による新規チャネルの開拓や市場シェア拡大
- オンデマンド生産やグローバル生産・物流体制の効率化によるコスト競争力の強化
- 直販ビジネスの拡大、中国合弁事業をはじめとした現地販売の拡大

ライフクリエイト事業

【ショッピングセンター事業】

- 魅力あるテナント導入(「つかしん」の「にしまち」:2012年10月リニューアルオープン予定)
- 地域密着型販促の強化による競合他店との差異化促進

【スポーツクラブ分野】

- サービス向上や魅力的なメニューの導入による収益力の向上
- 京都店をモデル店舗とした都市型フィットネスクラブの展開拡大

VII-3. 第117期(平成24年度)業績予想(通期)

連結業績予想

(単位:億円 単位未満切捨て)

	第117期 (H24年度)	第116期 (H23年度)	対前期		利益率(%)	
			増加額	増加率 (%)	第117期 (H24年度)	第116期 (H23年度)
売上高	1,415	1,366	48	3.6	—	—
営業利益	36	10	25	251.9	2.5	0.7
経常利益	34	9	24	248.7	2.4	0.7
当期純利益	16	5	10	180.2	1.1	0.4

※ 業績予想は、現時点における事業環境等に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

◆第117期(平成25年3月期)配当は、1株当たり**7円50銭**を予定しております。



■第116期定時株主総会

「決議事項」

お手許の招集ご通知38頁から41頁をご参照

■第1号議案（招集ご通知38頁）

◆剰余金の処分の件

剰余金の処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

<期末配当に関する事項>

連結配当性向30%程度を目安に、中・長期的な業績見通しに基づき安定的・継続的な利益還元を実施する方針のもと、下記の通りとさせていただきます。

(1)配当財産の種類

金銭といたします。

(2)株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき **金7円50銭** 総額1,436,741,093円

(3)剰余金の配当が効力を生じる日

平成24年6月27日

■第2号議案（招集ご通知38～41頁）

◆取締役10名選任の件

【取締役候補者】

候補者 番号	氏名	候補者 番号	氏名
1	平田 弘	6	鈴木 昌和
2	児玉 和	7	服部 和徳
3	丹原 英夫	8	浜村 眞
4	天野 勝介	9	小澤 七洋
5	白井 文	10	廣地 厚 ※

（注1） ※印の廣地 厚氏は、新任取締役の候補者です。

（注2） 天野勝介、白井 文の両氏は、社外取締役の候補者です。